

講義名	健康サービス企画運営演習		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	山口 志郎		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
高齢化社会が進む現代の日本において、健康をキーワードとしたサービス産業はますます発展を遂げている。そうした中、健康サービス分野において、商品やサービス、イベントを企画運営することが求められており、そうした専門的な人材を育成していくことが急務な課題となっている。そこで、本講義では、ゲスト講師の課題設定を基に自ら企画運営することを目的とする。

到達目標
本実習を通して、以下4つの項目の達成を目標とする。 1) 健康サービスに関する専門的な知識を習得する。 2) 健康サービスに関する実践的な問題意識を明確にする。 3) 健康サービスに関する企画・立案力を習得する。 4) 健康サービスに関するイベントを実施し、自ら運営を行う。

提出課題
授業終了後に、その日の感想・質問・ポイント等を小レポートとして提出してもらう。また、授業内外で企画立案を行い、実際にイベント運営を行ってもらう。イベント終了後に、レポート課題を課す。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
毎回の小レポート課題は、レポート評価をした後、学生にフィードバックし、レポートの書き方やクリティカルシンキングのための考え方やキーワードやを個別または授業全体で解説する。

評価の基準
出席、授業態度、質問等 40% 個人調査・グループワーク 30% グループ・プレゼンテーション 30%

履修にあたっての注意・助言他
私語厳禁、提出物の期限厳守、書籍や資料の通読。授業計画は、進行状況により多少前後、変更する場合あり。

教科書
.使用しない。

プリント資料及び参考文献
プリント資料は必要に応じて配布する。

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. インTRODクシヨ 2. 個人調査 3. 調査まとめ 4. ゲスト講師（市民マラソン担当者） 5. グループワーク 6. 事前打ち合わせ+グループワーク 7. 市民マラソンでの実習 8. 市民マラソンでの実習 9. 市民マラソンでの実習 10. 市民マラソンでの実習 11. 振り返りとグループ分け 12. プレゼン資料（グループ）作成 13. プレゼン資料（グループ）作成 14. リハーサル+修正 15. プレゼンテーション（市民マラソン担当者に対し）

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション
<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
予習：各種次回の講義内容について、インターネットや新聞等を活用しながら自宅学習を実施しておくこと（2時間）。 復習：講義後に、本講義のまとめ部分を学生に提示するため、その部分の復習を毎回自宅で行うこと（2時間）。 課題：授業の最後に、毎回レポート課題を提示し、授業の最後ならびに次回の授業までに提出すること（2時間）。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
responを活用した参加型授業やQRコードを読み取り、アンケートに答えてもらいながら、学生の理解を深める授業などを展開する。

実務経験の有無及び活用

備考